

平成 28 年度

第 1 回細胞検査士会役員会

議案書

日時：第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

2016 年 5 月 27 日（金） 13 時～14 時

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー25 階

セミナールーム 3 部屋番号 2520

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 議事録確認：平成 27 年度細胞検査士会第 2 回役員会 p 1

IV. 報告事項 p 1

V. 議案

1 号議案：「公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会に関する施行細則」の変更 p 2

2 号議案：平成 27 年度事業報告及び収支決算 p 3

3 号議案：細胞検査士会創立 50 周年記念事業実施要綱 p 20

4 号議案：診断学推進協会細胞検査士会規則「支部施行規程」を廃止し、
「都道府県細胞検査士会との連携に関する細則」を定める。 p 21

VI. 確認・検討事項

細胞検査士会創立 50 周年記念事業について p 22

平成 29-30 年度細胞検査士会役員選挙の実施について p 22

子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会への変更について p 22

VII. 資料

【資料 1】確認：平成 27 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録 p 23

【資料 2】報告：平成 28 年度事業計画及びこれに伴う予算書 p 26

【資料 3】検討：細胞検査士会 50 周年記念事業会 申し合わせ事項 p 30

【資料 4】検討：細胞検査士会 50 周年記念事業会 組織図 p 31

【資料 5】検討：平成 27-28 年度役員選挙実施要綱 p 32

【資料 6】検討：がん検診委員会活動内容 p 34

【資料 7】議案：平成 27 年度収支決算 p 36

VIII. 閉会

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 平成27年度細胞検査士会第2回役員会議事録の確認

【資料 1】 p23

IV. 報告事項

1. 平成27年度第1回委員長会議（2016.1.24学会事務局）

- 1) 「平成28年度細胞検査士会事業計画及びこれに伴う予算書」をみなし決議の議案とする。

【資料 2】 p26

- 2) 「細胞検査士会創立50周年記念事業実施要綱」を役員会議案とする。

【3号議案】 p20

- 3) 「細胞検査士会50周年記念事業会 申し合わせ事項」と

「細胞検査士会50周年記念事業会 組織図」を確認・検討事項とする。

【資料 3&4】 p30

- 4) 平成29-30年度細胞検査士会役員選挙の実施を確認・検討事項とする。

役員選任に関する細則第 8 条（選挙管理委員会）

【資料 5】 p32

役員選挙の実務は、選挙管理委員会が選挙実施要綱に従って行い、選挙管理委員会構成員は会長が委嘱する。

2. 役員会みなし決議

- 1) 議案：平成28年度事業計画及びこれに伴う予算書

【資料 2】 p26

- 2) 幹事総数：45名

- 3) 役員会決議があったとみなされた日：2016年2月24日

2016年2月19日に議案提案し、電磁的に幹事全員の賛成を得るとともに、監事からの意義がないことを確認したので、細胞検査士会役員会運営に関する細則 第 5 条 2により、役員会の決議があったとみなされた。

V. 議案

第 1 号議案：公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則の変更

改 定 前	改 定 案
<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1. この施行細則は、公益法人の公益認定を受けた日から施行する。</p> <p>2. 平成 25 年 6 月 2 日 一部改定施行。</p> <p>3. 当分の間、細胞検査士会年会費は 1,000 円、入会金は 2,000 円とし、年会費は入会時及び更新時に 4 年分前納とする。</p> <p>4. 平成 26 年 6 月 7 日 一部改定施行。</p>	<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1. この施行細則は、公益法人の公益認定を受けた日から施行する。</p> <p>2. 平成 25 年 6 月 2 日 一部改定施行。</p> <p>3. 当分の間、細胞検査士会年会費は 1,000 円、入会金は 2,000 円とし、年会費は入会時及び更新時に 5 年分前納とする。ただし平成 27 年に施行された第 49 回細胞診検査士資格認定試験合格者の入会時は 4 年分前納とする。</p> <p>4. 平成 26 年 6 月 7 日 一部改定施行。</p> <p>5. 平成 28 年 5 月 28 日 一部改定施行。</p>

平成 28 年 4 月

細胞検査士会
平成27年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

公益社団法人日本臨床細胞学会

細胞検査士会会長 伊藤 仁

1. 平成 27 年度事業報告

1) 会長

① 細胞検査士会新体制がスタート

平成 27 年 6 月 14 日、島根県松江市で開催された第 56 回日本臨床細胞学会春期大会時に行われた細胞検査士会総会から新体制がスタートした。

平成 27 年度～28 年度の細胞検査士会役員会は、会長に伊藤仁、副会長に小松京子氏および片山博徳氏、そして 14 名の各種委員会委員長（6 名の新委員長）を含む 42 名の幹事と 2 名の監事で運営される。ここ数年で着実に世代交代が行われつつある。各種委員長には、総務；平田哲士氏、経理；阿部仁氏、庶務；仲村武氏、規約；深澤政勝氏、渉外；河原明彦氏、編集；阿部英二氏、学術；古田則行氏、国際；南部雅美氏、情報；小川勝成氏、都道府県代表者；遠藤浩之氏、あり方；原田仁稔氏、精度保証；竹中明美氏、子宮頸がん検診；今枝義博氏、50 周年記念事業；三宅真司氏、が就任した。また、監事には 2 期 4 年間お世話になった山岸紀美江氏、安松弘光氏に代わり、上野喜三郎氏、片岡秀夫氏が就任した（資料 1 役員及び委員会一覧）。

② 日本臨床細胞学会新体制スタート

日本臨床細胞学会本体も細胞検査士会同様に第 56 回日本臨床細胞学会春期大会総会より、青木大輔先生が新理事長に就任し、新体制がスタートした。昨年度、細胞検査士会役員選挙とほぼ並行して行われた平成 27 年度～28 年度の日本臨床細胞学会評議員選出、理事選挙では、評議員 444 名（正会員の 8%以内）が選出され（うち細胞検査士は 66 名）、その中から理事選挙が行われ 37 名の理事（うち細胞検査士理事は 3 名）が選出された。技師会員として区別されていた細胞検査士評議員が、学会の公益社団法人化により正会員として選挙に立候補した初の選挙であり、この選挙により伊藤、石井、小松の 3 名の細胞検査士が当選し、今年度から伊藤は総務委員会担当理事および情報処理委員会委員長、石井理事は細胞検査士委員会担当理事、小松理事は国際委員会担当理事として活動しているところである。

③ 日本臨床細胞学会における正会員・準会員について

2015 年 8 月時点での細胞検査士正会員 1031 人、細胞検査士準会員 6234 人であり、細胞検査士における正会員の割合はわずか 14%である。また、医師を含めた全正会員の中での細胞検査士正会員の割合は 18%という低率である。さらに、都道府県別細胞検査士正会員数をみると、2015 年 3 月 4 日時点で、0 名の都道府県が 1 県、1 名が 2 県、2 名が 2 県、3 名が 2 県である。2016 年度はすでに 29 年度～30 年度の評議員選出、理事選挙が行われる。細胞検査士理事はわずかに 3 名であり、学会運営の側面からは車の両輪と呼ぶにはまだまだ程遠いのが現状である。細胞検査士は日本臨床細胞学会の運営にもっと積極的に関与するべきであり、学会内での影響力・発言力を高めるためにも今後もさまざまな機会を通じて、正会員としての登録をお願いし、評議員、理事を輩出することが重要である。

④ 教育活動

一昨年より、日本臨床細胞学会細胞検査士ワークショップの実施委員長を細胞検査士が務めるようになった。本年度も福井と福岡において開催された第 70 回と第 71 回細胞検査士ワークショップの実施委員長を細胞検査士が務め、それぞれ盛会裏に終えることができた。細胞検査士教育セミナーおよび細胞検査士養成講習会（2 週間コース）は 2007 年から細胞検査士が実施委員長を務めており、順調に企画・運営され、実績を確実に積み重ねつつある。ただ、近年、細胞検査士教育セミナー参加者が非常に多くなってきており、今年度は 1100 名を超える申し込みがあり、現

在使用している会場では対応不可能であり、今後、会場の確保が大きな問題となり、対応を考えなければならない。

⑤ 公益活動

細胞検査士会が積極的に協力している Love49 による子宮頸がん検診の啓発事業に関して、昨年度から各都道府県の連携組織（各都道府県臨床細胞学会あるいは旧支部会）を通じて日本臨床細胞学会へ支援金（5万円を上限とする）を申請できるようになった。この活動をするための一助となっており、たいへん喜ばしいことである。日本臨床細胞学会が行う事業はすべて公益事業と認められているが、その中でも全国の各都道府県細胞検査士会と細胞検査士会渉外委員会を中心とした本活動は、一般市民への直接的公益性が高い事業として引き続き積極的に推進し、検診の重要性について一般市民への啓発をますます活発化していく必要がある。来年度は、47都道府県すべてが参加した啓発活動が予定されており、ますます活性化していくことが期待される。

⑥ 委員会活動

委員会活動については、各委員長による詳細な報告があるので参照されたい。細胞検査士会創立50周年記念事業に関してのみ記述する。50周年記念事業は、2017年、福岡で開催される第56回日本臨床細胞学会秋期大会時の2017年11月19日（日）に記念式典、祝賀会を開催することが決定した。現在、創立50周年記念事業実施要綱案組織（案）を策定中で、これから本格的に始動する。最後に、50周年という細胞検査士会創立以来最も大きな節目を迎えるが、私たちは現在をしっかりとみつめ、そして次世代へ確実にバトンを繋がないといけない。多くの会員に出席していただき、盛会になるよう、何卒皆さまの絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

2) 総務委員会

① 第1回役員会：2015年6月14日（日）松江テルサ 4階

議案募集、議案書作成、議事進行

② 細胞検査士会定時総会：2015年6月14日（日）松江テルサ 1階

議事進行

③ 第2回細胞検査士会役員会：2015年11月20日（金）名古屋都市センター

議案募集、議案書作成、議事進行

④ 細胞検査士会委員長会議：2016年1月24日（日）学会事務局

次第作成と議事進行

⑤ 役員会みなし決議

議案：平成28年度事業計画及びこれに伴う予算書

2016年2月19日に提案し、電磁的に幹事全員45名の賛成を得るとともに、監事からの意義がないことを確認し、2月24日役員会での決議があったとみなした。

⑥ 各委員会間の情報伝達と業務調整

3) 経理委員会

① 平成26年度各委員会の収支報告書、証拠書類（領収書等）を確認し、細胞検査士会会計報告書を作成。（4月8日、日本臨床細胞学会事務局に於いて）

② 細胞検査士会会計報告書を会長に報告後、細胞検査士会監事による会計および業務監査を受けた。（4月11日、日本臨床細胞学会事務局に於いて）

③ 監査終了後、監事より会計監査報告書、業務監査報告書を受領し、会長に提出。会計に関する資料および事業報告書、業監査報告書を学会へ送付。

④ 会長に代わり役員会、総会および会報などに会計報告実施。

- ⑤ 細則等の改訂について経理委員会を開催（8月22日）。
- ⑥ 平成27年、各委員会会計実施の現状
 立て替え金請求を実施した委員会
 本部会計、経理委員会、渉外委員会、精度保証委員会、編集委員会、庶務委員会、
 都道府県代表者委員会、仮払金請求を実施した委員会、
 精度保証委員会（セルフアセスメント会議）、
 学術委員会（WS：熊本）、（養成WS：大阪、東京）、（第1回・第2回口腔・子宮頸部WS）
 学会から直接経費（請求金）を支払った委員会
 編集委員会、総務委員会、本部会計、子宮頸がん、渉外委員会、経理委員会、情報委員会、国際委
 員会、精度保証委員会、学術委員会
- ⑦ 細胞検査士会 平成28年度（2016年）予算案作成。
 会長に提出、委員長会議、電子化を用いた役員会に報告
- ⑧ 総括：法人化に伴い現在では、現金の出納が学会事務局で実施されているため、各委員長の手元
 に現金予算がない分、立て替え金による処理などが多くなっている。この点については、委員長の
 負担軽減を目指すべく今後の会計方法について更に検討していきたい。細胞検査士会ワークショ
 ップ（以下WS）は、担当する学術委員会において本会の事業費として収支が行われている。計画
 的に会計をした事により、その精算も正確かつ速くなった。平成28年度からは精度保証委員会も
 事業費としての収支が行われるようになった。今後もより良い会計の方策（利便性）を学会事務
 局と相談しながら検討を行う。
- 50周年記念事業については、学会で専用の準備口座を作成して管理する。開催の1年前には具
 体的な予算の作成が必要となり、一般の会計とは別に管理する。そのためには、早い時点で具体性
 ある50周年記念事業の予算案作成が必要である。学会および会計事務所と綿密に相談し、計画的
 に会務を実施していく。

4) 庶務委員会

- ① 庶務委員会の業務に沿った活動
- (1) 役員名簿作成、役員メーリングリストの作成。 (2) 総会、役員会、委員長会議の開催
 (3) 総会、役員会の議事録作成と管理。 (4) 印鑑類の管理。 (5) 書類の発行と管理。
 (6) 会員の慶弔に関すること。
- ② 庶務委員会各委員の担当業務
- 仲村委員長：庶務業務の統括、会印の管理、役員委嘱状の発行、講師等委嘱状の発行、
 子宮の日趣意書の発行、議事録案の確認、HPへの掲載依頼、
 庶務委員会事業計画・報告の立案、庶務委員会の出納簿管理・報告、
 庶務委員会予算案の立案、慶弔対応
- 笹井委員：委員長補佐、役員会の出欠席確認、役員会運営補佐、委員長会議運営補佐
 川口委員、丸川委員、井上委員：役員会運営補佐、議事録作成
- ③ 庶務委員会の主な業務の統括
- (1) 議事録作成：議案を検査士会HPに掲載し、議事録には議案審議結果を簡明に記述した。役員
 会で前役員会の議事録案を確認し、議事録とした。
- (2) 子宮の日趣意書：pdfファイルで都道府県代表者にMLリストで配信した。
- (3) 委嘱状：学術のセミナーなど多くの講師、実務委員に委嘱状を発行した。
 都道府県代表者会議に出席する都道府県代表者に会議出席の依頼状を発行した。

- (4) 委嘱状だけでも 400 件を数え、一人では作成が大変であり、今年度は臨時雇賃金を予算計上した。

5) 規約委員会

① 継続審議:平成 26 年度第 3 回細胞検査士会役員会

- (1) 「日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会計処理規定」から「細胞検査士会会計に関する細則」への変更(経理)
- (2) 「会計処理規定運用細則」から「細胞検査士会会計に関する運用細則」への変更(経理)
- (3) 「各委員会の会計処理指針」から「細胞検査士会各委員会の会計処理要綱」への変更(経理)
- (4) 「経理委員会の会計処理指針」から「経理委員会会計処理要綱」への変更(経理)

② 可決成立:平成 27 年度第 2 回細胞検査士会役員会

- (1) 「細胞検査士会ホームページ記事掲載依頼要綱」の廃止(情報)
- (2) 「日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会計処理規定」から「細胞検査士会会計に関する細則」への変更(経理)
- (3) 「会計処理規定運用細則」の廃止(経理) (4) 「各委員会の会計処理指針」の廃止(経理)
- (5) 「経理委員会の会計処理指針」の廃止(経理)
- (6) 「学術事業特別会計運用細則」の廃止(経理)
- (7) 「委員会に関する細則」の一部変更(総務)
- (8) 「委員長会議に関する運用細則」の一部変更(総務)
- (9) 「委員会業務分担要綱」の変更(総務)

③ 継続審議:平成 27 年度第 2 回細胞検査士会役員会

「公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則」の変更(総務)

④ 業務目標:役員会にて承認された新規則類の管理を行う。また、各委員会から要望される規則類の新規制定や改廃に当たり、細胞学会の定款、定款細則、施行細則などの規則類やその他制度との整合性を検討した上で役員会議題として提案していく。

また、廃止となった旧規則類に代わるものとして、担当委員会に内規または申し合わせ事項の作成を依頼中である。現在は都道府県細胞検査士会との連携に関する規則類の整備を進めており、次回の細胞検査士会役員会への議案提出を目指している。

そして、細胞検査士と細胞検査士会にとって、より良い規則類と制度を構築できるよう努力していく。

⑤ 反省:日本臨床細胞学会が公益社団法人となったことに伴い、細胞検査士会の規則類も変更しなければならぬものが多く存在するが、今年度改正できたものはその一部である。今後も各委員会の協力を得て改正作業を進めていきたい。

6) 渉外委員会

① 子宮の日の活動:2015 Love49 プロジェクト,42 都道府県(89.0%)が参加。

北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、新潟県、長野県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、栃木県、富山県、石川県、福井県、愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、大阪府、和歌山県、京都府、広島県、山口県、鳥取県、岡山県、島根県、愛媛県、香川県、徳島県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、長崎県。

細胞検査士会がポケットティッシュ 4 万 5 千個作製し都道府県へ配送した。

② 平成 26 年度細胞検査士会公益広報活動調査(調査期間:4 月から 9 月,回答率 91%)

- (1) 啓発・社会活動の報告(資料 2 渉外委員会)

2014 Love49 キャンペーン実施都道府県数：39 都道府県（83.0%）

総イベント数：93 イベント

参加者数：約 2406 名（細胞検査士 1065 名，臨床検査技師 217 名，医師 43 名，
その他「ピンクリボンキャンペーンなど」1081 名）

(2) 育成・養成活動の報告

開催数：152（複数開催した都道府県あり）

参加者数：約 3727 名（細胞検査士 1916 名，臨床検査技師 1424 名，医師 215 名，
その他 119 名）

(3) 子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート報告

子宮頸がん検診推進活動を申請状況：平成 26 年度分申請あり：32/43 都道府県

平成 27 年度分申請あり：35/43 都道府県

金額（5 万円）の妥当性：妥当であると回答あり：33/43 都道府県

③ 第 56 回日本臨床細胞学会総会および第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（6 月，11 月）に子
宮頸がん検診委員会と共同で LOVE49 キャンペーンのパネル展示を行った。

第 56 回日本臨床細胞学会総会担当者：山本秀巨 前渉外委員

第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会担当者：小林幸弘委員，田所猛委員

④ 「第 14 回子宮頸がん予防・啓発連絡会議参加報告」2015 年 4 月 8 日吉田志緒子委員

⑤ 子宮の日全国アクション 2015 報告会の実施

第 56 回日本臨床細胞学会総会（島根：2015 年 6 月 14 日（日）10：20～11：50）にて，
細胞検査士と専門医が 5 演題を報告。第 57 回日本臨床細胞学会総会（横浜）においても 2016
LOVE49 報告会を行う予定。

⑥ 細胞検査士パンフレット「がん診断の担い手細胞検査士第 3 版」の配布

4-10 月末までに，4 施設に 1,850 部数を郵送。今年度は発送部数が少ない。印刷部数と郵送費
がある限り随時実施する。

⑦ 第 11 回がん患者大集会の会場協力（2015.11.15）

メイン会場：東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫講堂，9 名の東京都細胞検査士の協力を得
た。

⑧ 2016 Love49 プロジェクトの準備（2015.12-2016.3 月）

趣意書発行を伊藤会長へ要望し，庶務委員会から各都道府県へ郵送した。

2016 年 4 月 9 日前後に，特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に，子宮頸がん
検診啓発活動を行うための準備を行っている。特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の
会は 2016Love49 全国アクションに関する後援を厚生労働省から得ている（平成 27 年 12 月
16 日付）。昨年と同様に 2016Love49 キャンペーンで配布する細胞検査士会オリジナルポケッ
トティッシュを作製した。「受けましょう，子宮頸がん検診」（増量予定）。

⑨ 平成 27 年度渉外委員会事業の総括

今年度の渉外委員会は，昨年度に引き続き学会時の Love49 報告会，パネル展示やがん患者大集
会などへの参加協力を行った。子宮頸がん検診の啓発事業である Love49 キャンペーンでは，細
胞検査士会からのオリジナルポケットティッシュ「受けましょう，子宮頸がん検診」を全国の一般
の方々へ届けることができた。また，がん患者大集会での連絡体制の不備は，伊藤会長と共に委員
会内で整備することができた。一方，昨年度の課題であった，細胞検査士会 HP における Love49
活動関連ページの充実が行えなかった。多くの会員または一般の方々から HP をみて，「細胞検査士

会が伝えたいこと」を感じて頂ける HP を作っていききたい。

7) 編集委員会：細胞検査士会会報発行

会報(第 58 号, 59 号)の編集ならびに発行を行った。

会報の発行時期について細胞検査士会役員会の承諾を得て、第 60 号以降から 7 月と 12 月に変更することになった。それにより会長・副会長ならびに役員の変更があった場合、会員に対し速やかに伝わるができることや学会開催場所や日時が半年前から把握することができるので計画を立てやすくなるなどの利点がある。また総会や役員会の議案書については HP 掲載、議事録のみ会報に掲載することで発行にかかる経費削減が期待できる。

8) 学術委員会

① 第 1 回 口腔・子宮頸部ワークショップ

平成 28 年 2 月 27 日(大阪) 参加人数：講義+実習 42 名, 講義のみ 2 名

② 第 2 回 口腔・子宮頸部ワークショップ

平成 28 年 2 月 28 日(大阪) 参加人数：講義+実習 33 名, 講義のみ 2 名

③ 確認報告事項

(1) 業務の一部が精度保証委員会へ移行し、また前学術委員会の残務があったため、実際の活動が口腔・子宮頸部ワークショップのみとなった。

(2) ワークショップの実習で、顕微鏡に余裕があったので、標本を時間制限で回すのを止め、時間内自由検鏡とし、質問も常時可能とした。好評であった。

- 好評理由
- ・興味有る例に時間をかけて鏡検することができた
 - ・時間制限が無いので、自分で時間調整できた
 - ・質問に対し、十分な時間をかけて解説して頂いた

9) 国際委員会

国際委員会の恒例行事として、日・台・韓細胞検査士合同セミナーがあります。

本年の 2 月もしくは 3 月に第 8 回日・台・韓細胞検査士合同セミナーを台湾にて開催する予定であったが、今年 5 月横浜にて第 19 回国際細胞学会が開催され、国際的イベントが続くため、今年は見送り、2017 年 2 月 18 日に台湾にて開催する予定とした。今後の日・台・韓細胞検査士合同セミナーのあり方を考える上において視察を兼ねて、2015 年 11 月に韓国の麗水にて開催された第 14 回日韓細胞診合同会議に参加した。

10) 情報委員会

① 情報委員会の新メンバーにおける業務分担の決定

6 月新メンバーでの掲載担当者を決定し開始。

委員長会議メールリストを構築し、6 月 20 日より運用を開始。

7 月新しい管理分担と運用を構築

8 月細胞検査士会 HP を Word Press を用いて管理

情報委員会専用 ML<ct_jyouhou@ctjsc.com>にて掲載依頼を指示。

求人情報ページへの掲載管理

求人情報掲載専用 ML<ctjob_offer@ctjsc.com>を用いて掲載依頼を指示。

これらの 2 本立て ML にて、担当者毎の業務分けを実施。

② 求人情報コンテンツのサイト内管理の構築

7 月より現 HP サーバーでの管理に移行し、新運用を開始

③ ホームページの更新実績

(1) 平成 27 年 6 月, 求人情報 6 件

- 平成 27-28 年度新役員及び委員会名簿を掲載
- 経理委員会 新着情報：平成 26 年度会計報告, 平成 27 年度予算
- 庶務委員会 新着情報：平成 27 年度事業計画

(2) 求人情報 7 件

- 新着情報：細胞学会リニューアルのお知らせ
第 69 回(東京)・70 回(神戸) 細胞検査士教育セミナーのプログラム掲載
- 新会長挨拶
- 細胞検査士会会報：マイ・レクチャー記事 「甲状腺細胞診とベセスダシステム」
- 経理委員会新着情報：平成 26 年度会計報告, 平成 27 年度予算

(3) 平成 27 年 8 月, 求人情報 13 件

- 子宮頸がん検診委員会 新着情報：子宮頸がん委員会の活動目標
- セミナー・ワークショップ：第 2 回細胞検査士養成ワークショップ
- 学術情報：第 4 回びわ湖病理細胞テュートリアル 液状化検体細胞診断講習会 第 2 回
- 情報委員会 新着情報：平成 27 年度事業計画

(4) 平成 27 年 9 月, 求人情報 6 件

- 新着情報：子宮頸がんセミナーのお知らせ

(5) 平成 27 年 10 月, 求人情報 7 件

- セミナー・ワークショップ：第 1 回・2 回細胞検査士会ワークショップ
- 2015LOVE49 (啓発活動)
- 新着情報：第 2 回役員会及び都道府県代表者会議 開催のお知らせ

(6) 平成 27 年 11 月, 求人情報 12 件, 平成 27 年度 役員会資料を掲載

- 議事録 (会報掲載予定)：平成 26 年度 第 3 回細胞検査士会役員会議議事録
平成 27 年度 細胞検査士会総会議事録
平成 27 年度 第 1 回細胞検査士会役員会議事録
- 議案書：平成 26 年度_第 3 回 細胞検査士会役員議案書
平成 27 年度_細胞検査士会総会議案書原案
平成 27 年度_細胞検査士会第 1 回役員会議案書
平成 27 年度 第 2 回役員会議案書

(7) 平成 27 年 12 月, 求人情報 13 件, 平成 27 年度 掲載・採用実績を掲載

- 学術情報：第 13 回肺癌検診喀痰細胞診セミナー in Miyagi のお知らせ
第 1 回・第 2 回細胞検査士会ワークショップ抄録を掲載
講演抄録 関根浄治・秀島克巳
「口腔の Potentially malignant disorders (PMDs) の臨床像と細胞判定」
- 会員専用：細胞検査士会の改定細則等を掲載
- リンク：学会・支部・連合会を追記更新

(8) 平成 28 年 1 月 求人情報 5 件

- 学術情報：第 71 回細胞検査士ワークショップ 受講者募集のお知らせ
第 1 回滋賀液状化検体細胞診 (LBC) 研修会のご案内
第 14 回内膜細胞診勉強会のご案内

第13回肺癌検診喀痰細胞診セミナーin Miyagi 中止のお知らせ

・セミナー・ワークショップ

第1回・第2回細胞検査士会ワークショップのお知らせに下記抄録を掲載

講演抄録 棟方 哲「WHO2014 子宮頸部病変の変更点と細胞診」

・会報マイレクチャー記事：松本慎二 著 細胞診標本を用いた p16-FISH 法を掲載

(9) 平成28年2月 求人情報 9件

・Love49 (啓発活動)

・セミナー・ワークショップ

第1回・第2回細胞検査士会ワークショップに抄録を掲載

講演抄録 佐藤由紀子 「口腔・咽頭の病理診断, 細胞診断」

・細胞検査士会支部：東京都細胞検査士会を更新

(10) 平成28年3月, 求人情報 9件

④ intercyto.com (インターネットサイトロジックHP) サーバー移行と再構築

・当サイトのCMSシステム化と年度内リニューアル公開を目標に準備中

現在, 過去データの移行と新デザインサイトの構築を進めている。教育的サイトとしてリニューアルオープンを企画しているが, 当初計画より, 数箇月対応が遅れている。

・intercyto.com の運用

掲載と運用については, サイト完成後, 計画する予定である。

課題：次年度においては, 優先してオープンを進める予定である。

⑤ 委員長会議メーリングリストの運用・管理

6月20日 委員長会議新 ML<icyto@ctjisc.com>を開設

会長, 副会長, 各委員長及び幹事 19名を登録

*細胞検査士会に関する施行細則第10条2「監事は, この会の会計及び事業を監査する」
委員長 ML, 役員会 ML, 都道府県代表者 ML へ参加していただいた。

現在, 特に支障なく運用できている。

⑥ 役員会会議と都道府県代表者会議に関する新メーリングリストの移行準備

・次年度より, 役員会議及び都道府県代表者会議に関しても, 同一サーバを用いての運用に変更する予定。

・現在, 両者のMLのメンバー登録を済ませ, バックアップ構築を完了。

・当会MLにおいてYahooメールでは, 受信はできるが, 返信ではじかれる事がある。

理由：Yahooメールがspamcopというところのブラックリストに載っている。

<http://www.spamcop.net/bl.shtml?183.79.56.136>

⑦ 運細 HP ガイドラインと掲載のルール化

方針を「細胞検査士会ホームページに関する基本方針」から「情報委員会内規ホームページ及びメーリングリストに関する取り決め」へ変更した。

⑧ 学術情報への掲載について

「細胞検査士会ホームページ掲載申込書」から「情報委員会内規細胞検査士会ホームページ掲載申込書」に変更した。学会や細胞検査士会で開催するものは基本的にホームページに掲載するが, その他の研修会などは掲載申込書で申請していただき, 掲載の許可・確認を会長, 総務委員長, 情報委員長で行うことにした。

*次年度は, intercyto.com の本格的な稼働と ML 及び HP の安定した継続運用を目指す。

図) ML 運用と設定状況

細胞検査士会MLの管理・運営

<p>サクラネット 役員会ML <ctfellow@sl.sakura.ne.jp></p>	<p>現在旧役員会MLで使用中、平成27年度議事録作成後運用停止(今期の契約は済み)</p>	
<p>トラバンツ 旧役員会ML</p>	<p>最後の役員会の議事録作成まで使用する(今期の作成は不要)</p>	次回役員切り替え時に対応
<p>トラバンツ 新役員会ML ctfellow@ctjsc.com</p>	<p>→送受信の試験後運用開始 2015年7月8日 メンバー登録設定</p>	設定済
<p>トラバンツ 委員長ML kyfo@ctjsc.com</p>	<p>運用中 2015年6月20日より運用</p>	管理中
<p>サクラネット 都道府県代表者 ↓ トラバンツ ML <todfuken@sl.sakura.ne.jp> → todfuken@ctjsc.com</p>	<p>契約期間は2016年6月30日まで →次年度 試験後運用開始 2015年9月20日 メンバー登録設定</p>	設定済

株式会社トラバンツ Torapants Inc.
 福士浩悦 fukushi@torapants.co.jp
 Tel 018-883-1909 Fax 018-883-1907
 URL http://www.torapants.co.jp/

11) 都道府県細胞検査士会代表者委員会

- ① 都道府県代表者会議定期連絡メール配信
- ② 平成 27 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ③ 平成 27 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ④ 都道府県細胞検査士会との連携に関する規則類の整備に関する検討

12) あり方委員会

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 平成 27 年 8 月 | 細胞検査士アンケート実施内容検討 |
| 平成 27 年 9 月 | アンケート案の作成と実施方法を委員会で検討 |
| 平成 27 年 11 月 | アンケート実施案を細胞検査士役員会、都道府県代表者委員会にて説明 |
| 平成 28 年 1 月 | 細胞検査士委員長会議にて、実施方法の確認、修正案の再検討 |
| 平成 28 年 3 月 | 役員会 ML で細胞検査士アンケート最終案の承認 |

13) 精度保証委員会

- ①平成 27 年度地域支援「初心者細胞検査士養成ワークショップ」
平成 27 年 4 月 19 日 (金沢) 参加人数 : 52 名
 - ②第 5 回・6 回「画像所見と細胞像 呼吸器と消化器 (唾液腺・膵臓等)」
平成 27 年 5 月 23 日・24 日 (熊本) 参加人数 : 第 5 回 58 名, 第 6 回 26 名
 - ③第 56 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)
平成 27 年 6 月 13 日・14 日 (島根)
- (1) 細胞検査士会要望教育シンポジウム (癌取扱い規約にそった組織像と細胞像)
 - (2) ヤング committee ワークショップ (LBC 検体の標本作製と応用)
 - (3) ヤングポスターセッション「わからん会」

- ④ 第 69 回・70 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議
平成 27 年 7 月 16 日（大阪）（前年度学術委員会・精度保証委員会）
 - ⑤ 第 69 回・70 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議
平成 27 年 8 月 1 日（東京）（前年度学術委員会・精度保証委員会）
 - ⑥ 第 69 回 細胞検査士教育セミナーの実施協力
平成 27 年 8 月 29 日・30 日（東京）
 - (1) セルフアセスメント（前年度学術委員会・精度保証委員会連携事業）
 - (2) ワークショップ（口腔領域の細胞診）
 - ⑦ 第 70 回 細胞検査士教育セミナーの実施協力
平成 27 年 9 月 5 日・6 日（神戸）
 - (1) セルフアセスメント（前年度学術委員会・精度保証委員会連携事業）
 - (2) ワークショップ（口腔領域の組織と細胞像）
 - ⑧ 平成 27 年度 細胞検査士養成ワークショップ 問題作成会議
平成 27 年 9 月 26 日（大阪）
 - ⑨ 平成 27 年度 細胞検査士養成ワークショップ
平成 27 年 10 月 10 日・11 日（大阪） 参加人数：116 名
 - ⑩ 平成 27 年度 細胞検査士養成ワークショップ
平成 27 年 10 月 17 日・18 日（東京） 参加人数：108 名
- 14) 子宮頸がん検診委員会
- ① 運営部
 - (1) 各都道府県委員の変更確認し、平成 27・28 年度子宮頸がん検診委員会の委員名簿を作成した。
 - (2) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）に子宮頸がん検診委員会を開催し、活動報告、活動計画、その他の検討事項等を審議して議事録を作成した。
 - (3) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）、第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（名古屋）において開催した啓発パネル展の掲示物の保管・配送（保管は学会開催地の委員、輸送先は次回学会場）を行った。
 - ② 啓発部
 - (1) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）学会場にて啓発パネル展示を行った。
 - (2) 第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（名古屋）の学会場にて啓発パネル展示を行った。
 - ③ 調査研究部
 - (1) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）において、学会場での啓発パネル展示に一般市民向けアンケートと子宮頸がん検診の現況調査の集計結果を展示報告した。
 - (2) 第 56 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（松江）において、「子宮の日 全国アクション 2015 報告会」で、子宮頸がん検診の報告様式について発表した。
 - (3) 第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（名古屋）において、啓発パネル展示に一般市民向けアンケートと Love49 活動についてのアンケートの集計結果を展示報告した。
- 15) 細胞検査士会創立 50 周年記念事業準備委員会
- ① 事業計画
 - 6 つの小委員会（記念式典準備小委員会、功労賞選考準備小委員会、公開講座準備小委員会、記念誌発刊準備小委員会、検査展準備小委員会、予算準備小委員会）で、引き続き各企画を詳細に検討する。

② 事業報告

(1) 予算準備小委員会

都道府県代表者会議メーリングリストを使用し、30周年と40周年記念事業での協賛企業・団体の一覧表を配布した。各都道府県代表者の皆様に、関連する企業・団体の有無、住所、連絡先等の確認、ならびにリスト上にない企業や団体の追加をお願いした。

(2) 功労賞選考準備小委員会

各都道府県から推薦いただく功労賞受賞予定者数を検討した。

[初期設定]

- ・各都道府県、最低1名以上の推薦とする。
- ・会員数100名に1名とし、十の位を四捨五入する。

[調整後の最終枠]

- ・会員数100名に1名とし、一の位を四捨五入した後、十の位を四捨五入する。
- ・会員数の把握時期と方法については、今後の検討課題。

都道府県	会員数 (人)	推薦枠 (初期設定)	調整枠 (+, -)	推薦枠 (最終)
北海道	310	3		3
青森県	58	1		1
岩手県	59	1		1
宮城県	115	1		1
秋田県	71	1		1
山形県	61	1		1
福島県	95	1		1
茨城県	117	1		1
栃木県	80	1		1
群馬県	131	1		1
埼玉県	306	3		3
千葉県	283	3		3
東京都	950	10		10
神奈川県	434	4		4
山梨県	43	1		1
長野県	148	1	1	2
新潟県	147	1	1	2
富山県	72	1		1
石川県	88	1		1
福井県	45	1		1
岐阜県	105	1		1
静岡県	168	2		2
愛知県	352	4		4
三重県	72	1		1

滋賀県	64	1		1
京都府	203	2		2
大阪府	468	5		5
兵庫県	295	3		3
奈良県	40	1		1
和歌山県	33	1		1
鳥取県	37	1		1
島根県	39	1		1
岡山県	145	1	1	2
広島県	185	2		2
山口県	114	1		1
徳島県	27	1		1
香川県	87	1		1
愛媛県	60	1		1
高知県	24	1		1
福岡県	386	4		4
佐賀県	45	1		1
長崎県	101	1		1
熊本県	131	1		1
大分県	83	1		1
宮崎県	40	1		1
鹿児島県	70	1		1
沖縄県	79	1		1
計	7066	80	3	83

(3) 確認事項

準備委員会の任期は2017年春までで、記念事業は2017年秋に決定された。準備委員会が検討した企画を引き継ぎ、事業を実現するための組織が必要である。

- ・30周年記念事業を参考にし、「記念事業会」を設け、実務は「実行委員会」と「表彰選考委員会」が担当する。
- ・「記念事業会」の軸となる構成員は、伊藤会長、小松副会長、片山副会長、三宅50周年記念事業準備委員長、平田総務委員長、仲村庶務委員長、阿部英二編集委員長とし、実施要綱作成、組織構成、人選にあたる。
- ・構成員は役員任期とは異なる任期とする。
- ・実施要綱、組織構成、人選を2016年春の役員会までに決定する。

③ 総括

50周年記念事業の開催時期と場所が決定し、企画準備に一層拍車がかかる時期を迎えた。残念ながら、今年度の各小委員会での検討は、消極的な印象を受ける。

しかし、次年度からは作成された実施要綱に基づき、準備委員会から「記念事業会」を中心とした新しい組織へのスムーズな引き継ぎと、より具体的な企画を検討していかなければいけない。今後も、各委員ならびに都道府県代表者皆様の力をお借りして、今まで以上に活発な企画準備を進めていきたい。

2. 平成27年度会計報告

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成27年度(2015年)会計報告

収入の部

科目	a. 決算額	備考
参加費	3,550,000	細胞検査士会ワークショップ
入会金、年会費	7,263,000	
郵送料、集金事務費	399,957	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)2年分
前年度からの繰越金	39,036,780	*) 50周年記念事業準備金5,001,000円含む
合計	50,249,737	

*) 50周年記念事業準備金: 検査士会記念準備金の口座へ移動
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

支出の部

科目	管 理 費													事業費	合計	
	委員会	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	精度保証	渉外	都道府県代表	規約	あり方	*) 50周年記念事業準備金			国際
通信運搬費		5,160	4,320	648,680	920	33,648	1,296,501	140	155,125	4,566	-	-	-	-	11,181	2,160,241
旅費交通費		214,261	-	-	106,696	-	-	248,132	-	-	-	-	-	-	1,089,312	1,658,401
印刷製本費		12,976	-	-	-	-	1,546,948	17,928	364,500	-	-	-	-	-	936,668	2,879,020
消耗品費		972	-	-	-	8,028	6,145	-	9,250	-	-	-	-	-	10,155	34,550
消耗什器備品費		-	-	-	2,030	-	65,068	-	-	-	-	-	-	-	21,560	88,658
臨時雇賃金		-	-	-	-	-	-	17,958	-	-	-	-	-	-	161,622	179,580
会議費		369,007	-	-	6,576	-	-	31,741	19,000	86,000	-	-	-	111,000	275,417	898,741
委託費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会場費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63,700	63,700
交際接待費		70,200	-	-	-	8,976	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79,176
諸謝金		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	916,787	916,787
雑費		288,404	-	864	1,944	972	5,076	972	2,160	1,404	-	-	-	540	23,976	326,312
支払負担金		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000,000	-	-	2,000,000
a. 決算額		960,980	4,320	649,544	118,166	51,624	2,919,738	316,871	550,035	91,970	-	-	2,000,000	111,540	3,510,378	11,285,166
b. 決算額		1,367,000	246,800	752,500	129,000	68,000	3,038,000	250,000	680,000	130,000	28,000	50,000	2,000,000	230,000	4,906,400	13,875,700
(b-a)増減		406,020	242,480	102,956	10,834	16,376	118,262	-66,871	129,965	38,030	28,000	50,000	-	118,460	1,396,022	2,590,534

科 目	金 額
収入の部	
今年度(2015年)総収入	11,212,957
前年からの繰越金	39,036,780
(うち、記念事業分)	(5,001,000)
収入合計	50,249,737
支出の部	
管理費・事業費	9,285,166
50周年記念事業準備金 (次年度繰越金記念事業へ)	2,000,000
支出合計	11,285,166
次年度繰越金 (うち、記念事業分)	40,964,571 (7,001,000)

以上の通り、平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の
細胞検査士会会計報告をいたします。

平成28年3月31日 細胞検査士会 会計担当 阿部 仁
同 会長 伊藤 仁





3. 平成 27 年度監査報告

監 査 報 告 書

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会
会長 伊藤 仁 殿

平成 28 年 3 月 31 日
公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会

監 事 上野喜三郎 

監 事 片岡 秀夫 

平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の会計及び業務の監査を行いましたので、細胞検査士会監事 2 名の監査報告書を添えて報告いたします。監査・報告内容は以下の通りです。

以下の監査を行った。

- 1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算、書類が正確かつ適正であることを認めた。
- 2) 業務監査については、公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会役員会、各委員会及びその他の業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧を行った結果、業務執行が適正であることを認めた。

関係書類について

- 1) 細胞検査士会経理委員会が作成した会計書類を閲覧し、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況、及び財政状況が正しく示されているものと認めた。
- 2) 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会の職務執行に関する不正の行為、又は、法令もしくは公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会諸規則に違反する重大な事実はないと認める。

補足事項

- ※繰越金については、有効な活用法を検討してほしい。
- ※予算案と決算額の乖離が大きくなるような予算案を作成してほしい。
- ※各委員会からの予算案および会計報告の提出期限を厳守してほしい。
- ※公益社団法人化に伴いこれまでの諸規則を更に検討してほしい。
- ※さらに公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会委員は、本来業務を持ちながら本会会員のために時間的・精神的に活動したことを認める。

以上

平成 28 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 資料 1 役員及び委員会一覧

細胞検査士会 平成27年-28年度 委員会名簿

総務	委員長	平田 哲士 (兼)	経理	委員長	阿部 仁	
	委員	尾崎 聡		委員	五十嵐 清子	
		實原 正明		大塚 重則		
		三宅 康之		藤山 淳三 (兼)		
		村田 行則				
		矢羽田 一信	委員長	南部 雅美		
庶務	委員長	仲村 武	国際	委員	加戸 伸明 (兼)	
	委員	井上 博文			宮本 朋幸	
		川口 詳司			矢野 恵子	
		笹井 伸哉			吉田 朋美	
		丸川 活司	委員長	阿部 英二		
規約	委員長	深澤 政勝	編集	委員	有田 茂実 (兼)	
	委員	栗原 康哲			今井 律子	
		野崎 正行			及川 洋恵	
		平田 哲士 (兼)			佐渡 正敏	
		横山 俊朗 (兼)	中島 弘一			
渉外	委員長	河原 明彦	都道府県 細胞検査士会 代表者	委員	藤田 勝	
	委員	小林 幸弘			松永 徹	
		小山 芳徳			委員長	遠藤 浩之
		田所 猛			委員	石井 保吉 (兼)
		畠 榮				姫路 由香里
		羽原 利幸				水野 幸恵
廣井 禎之	山城 篤					
	吉田 志緒子	委員長	原田 仁稔			
情報	委員長	小川 勝成	あり方	委員	有田 茂実 (兼)	
	委員	青木 裕志			石井 保吉 (兼)	
		安達 博成			服部 学 (兼)	
		仲 徹			古田 則行 (兼)	
		藤岡 学			委員長	竹中 明美
		町田 知久			浅見 英一	
丸田 淳子	岩井 宗男					
学術	委員長	古田 則行 (兼)	精度保障	委員	島田 直樹	
	委員	浅沼 匡介			白波瀬 浩幸	
		柿沼 廣邦			棚田 諭	
		加戸 伸明 (兼)			田路 英作	
		草苅 宏有			服部 学 (兼)	
		澁木 康雄			藤山 淳三 (兼)	
		鳥居 良貴			横山 俊朗 (兼)	
		松本 慎二			委員長	今枝 義博
	三宅 真司 (兼)	委員	大野 喜作			
		子宮頸がん検診	委員長	三宅 真司 (兼)		
		50周年記念事業	委員			

平成 26 年度細胞検査士会公益広報活動調査結果 啓発・社会活動の内訳

イベント数：93 イベント

子宮の日 LOVE49 キャンペーン活動会場：47（県内同時開催含む）（50.5%, 47/93）

その他「ピンクリボンキャンペーンなど」：46（49.5%, 46/93）

1. 動員人数とその内訳

約 2406 人（細胞検査士 1065 名，臨床検査技師 217 名，医師 43 名，その他 1081 名）

	LOVE49 キャンペーン	その他の事業
動員人数の内訳	1075	1331
細胞検査士	73.6% (791/1075)	21.0 % (274/1331)
医師	1.5% (16/1075)	2.0% (27/1331)
その他	24.9% (268/1075)	77.4 % (1030/1331)

2. 子宮の日 LOVE49 キャンペーン等の啓発・社会活動を行った場所（47；県内同時開催含む）

	LOVE49 キャンペーン	その他の事業
ショッピングセンター	52.7%(29/55)	4.54%(2/46)
公共施設	7.3%(4/55)	17.4%(8/46)
駅前	14.6%(8/55)	2.2%(1/46)
その他	25.5%(14/55)	76.12%(35/46)

3. 子宮の日 LOVE49 キャンペーン等の啓発・社会活動の内容（47；県内同時開催含む，重複回答あり）

	LOVE49 キャンペーン	その他の事業
資料配付(リーフレットなど)	56.1%(46/82)	21.2%(14/66)
アンケート調査	18.3%(15/82)	4.6%(3/66)
パネル展示	8.5%(7/82)	22.7%(15/66)
講演会や討論会	4.9%(4/82)	21.2%(14/66)
顕微鏡を用いた説明	4.9%(4/82)	18.2%(12/66)
その他	7.3%(6/82)	12.1%(8/66)

平成 26 年度細胞検査士会公益広報活動調査結果 育成・養成活動の内訳

開催数：152 回（複数開催した都道府県あり），参加・受講者：約 3727 名，細胞検査士：1916 名，医師：1424 名，臨床検査技師：215 名，その他：86 名

活動名称：細胞検査士試験対策，細胞診初心者講習会，がん検診従事者資質向上事業など

主催団体：都道府県細胞検査士会 47.4%（72/152），日本臨床細胞学会（旧各支部）27.6%（42/152），その他 25.0%（38/152）

内容（重複回答あり）：1.講義のみ：59 件，2.鏡検実習のみ：14 件，3.講義と実習の両方：57 件，

4.その他（実技など）：22 件

第3号議案：細胞検査士会創立50周年記念事業実施要綱

議 案	修 正 案
<p>当会が平成 29 年(2017 年)に創立 50 周年を迎えるにあたり、次のように「細胞検査士会創立 50 周年記念事業」を実施する。</p>	
<p>1. 目的 細胞検査士の更なる社会的な認知度と地位向上を目的とし、医療スタッフの一員として細胞検査士が結束して社会にアピールする事業を実施する。</p> <p>2. テーマ 「細胞検査士会 50 年（半世紀）の足跡、そして新たなる飛躍をめざして」</p>	
<p>3. 組織と記念事業 50 周年記念事業会（事業会）、50 周年記念事業実行委員会（実行委員会）、50 周年記念事業表彰選考委員会（選考委員会）を組織し、式典、表彰、公開講座、検査展、懇親会、記念誌、その他 50 周年記念に相応しい事業を実施する。</p>	
<p>4. 事業会 1) 業務 50 周年記念事業準備委員会の検討を引き継ぎ、事業に関する具体的な企画、立案、決定などを行う。</p> <p>2) 構成員 会長 1 名、副会長 2 名、会員若干名</p> <p>5. 実行委員会 1) 業務 50 周年記念事業会の決定に基づき、事業を具体的に実施する。</p> <p>2) 構成員 委員長 1 名、事務局長 1 名、部長若干名、委員若干名</p> <p>6. 表彰選考委員会 1) 業務 50 周年記念事業準備委員会における表彰に関する検討を引き継ぎ、候補者の選考を行う。</p> <p>2) 構成員 委員長 1 名、副委員長 1 名、委員若干名</p> <p>7. 監査 細胞検査士会創立 50 周年記念事業を監査するために、監事 2 名を置く。</p> <p>8. すべての構成員 1) 任期 この要綱成立時（平成 28 年 6 月）から事業終了時、平成 31 年 3 月を限度とする。</p> <p>2) 選任 平成 27-28 年度細胞検査士会会長が委嘱する。事業会会長は構成員を任免することができる。</p>	

第4号議案：診断学推進協会細胞検査士会規則「支部施行規程」を廃止し、

「都道府県細胞検査士会との連携に関する細則」を定める。

廃止案	制定案
日本細胞診断学推進協会細胞検査士会 支部施行規程 (平成19年11月30日 制定)	都道府県細胞検査士会との連携に関する細則
(総則) 第1条 この規程は、日本細胞診断学推進協会細胞検査士会(本会)における支部の設立およびその運営について定める。	第1条(地域組織) 当会は地域会員との連携を密にし、事業を円滑に行うために都道府県細胞検査士会(地域組織)と連携を持つ。
(支部の設立) 第2条 支部の設立にあたっては各都道府県単位で代表者を定め、会則、設立時の会員名簿ならびに役員名簿を本会会長に提出し承認を受けなければならない。	第2条(地域組織の認定) 以下の条件が満たされた場合、役員会の承認を経て会長は連携する地域組織を認定する。 1. 都道府県を単位とすること。 2. 都道府県名が判別できる名称であること。 3. 地域の大多数の細胞検査士で構成される組織であること。
(支部の会員) 第3条 支部の正会員は各都道府県の本会会員に限る。 2. 本会会員は原則として主たる勤務施設のある都道府県支部に所属する。ただし、自宅会員は自宅住所の都道府県支部に所属する。 3. 会員は、当該支部の承認を受けた場合には複数の支部に所属することができるが、同時に複数の支部役員を兼ねることはできない。 4. 会員は、所属支部を変更する場合には遅滞なく本会および関係支部に連絡しなければならない。 5. 会員の逝去に際しては、その所属支部は速やかに本会に連絡しなければならない。	第3条(会員の責務) 連携する地域組織に所属する当会会員は、地域での活動に積極的に貢献しなければならない。
(支部の運営) 第4条 支部は、支部会則に則り独自に運営されるが、本会業務に協力しなければならない。 2. 支部は、その代表者を選出し、改選のつど支部代表者委員長を通じて本会会長に報告する。 3. 支部は、活動状況を毎年支部代表者委員長に報告する。	第4条(地域組織との連携) 当会と地域組織との連携は都道府県細胞検査士会代表者委員会を介して行う。
(支部代表者会議) 第5条 本会役員会と各支部間の連絡、調整および協議のために、本会に支部代表者会議を設置する。 2. 支部代表者会議は支部代表者および本会役員より構成され、本会会長がこれを召集し、支部代表者委員会が運営する。 3. 支部は、支部代表者会議に代表者またはその代理人を出席させなければならない。 4. 本会委員会と各支部間の常時の連絡、調整は、支部代表者委員会が行う。	第5条(都道府県細胞検査士会代表者委員会) 地域組織との連携のため都道府県細胞検査士会代表者委員会は以下を行う。 1. 都道府県細胞検査士会代表者会議の開催。 2. 都道府県細胞検査士会代表者会議メンバーリストの運営。 3. 地域組織の活動状況調査。 4. その他役員会が認めた連携に関すること
(規程の改定) 第6条 この規程は、支部代表者会議の協議を経て、役員会の議決により改定できる。	第6条(細則の変更) この細則の変更は役員会の承認を経なければならない。
附則 1. 支部が設立されていない都道府県の代表者については、本会会長が2年以内の任期で直接委嘱する。 2. この規程は、平成19年11月30日より施行する。	附則 1. この細則は、平成28年5月27日より施行する。都道府県細胞検査士会代表者

VI. 確認・検討事項

1. 細胞検査士会50周年記念事業会申し合わせ事項 【資料 3】 p30
 2. 細胞検査士会50周年記念事業会組織図 【資料 4】 p31
 3. 平成29-30年度細胞検査士会役員選挙の実施について
役員選任に関する細則第8条に基づき、選挙管理委員会が選挙実施要項に従って行う
平成27-28年度細胞検査士会役員選挙の概要を以下に示す。
 - 1) 任期：平成29年（2017年）春，検査士会総会終了時～2年間
 - 2) 選出：平成29年（2017年）春，検査士会役員会まで
 - 3) 選挙期間：平成28年度中
 - 4) 実施方法例 平成27-28年度役員選挙 資料4
 - ① 平成27-28年度役員選挙実施要綱
選挙の公示：7月 （実際の公示は6月23日）
選挙管理委員会：7月 （実際の公示は6月30日）
選挙人，被選挙人登録 （実際の公示は8月16日）
幹事の選出：9月 （実際の開票は9月20日）
会長，副会長の選出：11月 （実際の開票は10月25日）
 - ② 選挙管理委員会
委員長 才藤 純一 誠馨会病理センター
委員 麻生 晃 千葉細胞病理診断センター
東 学 旭川医療センター
外館 明彦 岩手県対ガン協会
二瓶 憲俊 竹田総合病院
有田 茂実 千葉県がんセンター
栗原 康哲 群馬大学医学部附属病院
姫路 由香里 下越総合健康開発センター
水野 幸恵 福井県立病院
長友 明彦 宮崎県立延岡病院
宮里 泰山 沖縄県立中部病院
4. 子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会への変更について 【資料 6】 p34
 - 1) 臨時委員会：「委員会業務分担要綱」の附則の変更
8. 平成28年 月 日 一部改定施行。
子宮頸がん検診委員会をがん検診委員会に変更する。
 - (1) がん検診に関する調査研究
 - (2) がん検診受診への啓発活動
 - (3) 期間は平成30年度までとする
 - 2) 常置委員会：「委員会に関する細則」第4条（常置委員会）の変更
「委員会業務分担要綱」の変更（がん検診委員会追加，子宮頸がん委員会解散）

IX. 資料

【資料 1】平成 27 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録

日時：第54回日本臨床細胞学会秋期大会 平成27年11月20日 14時30分～15時30分

場所：名古屋都市センター 14階 特別会議室

出席：〔会長〕伊藤 仁〔副会長 1〕片山 博徳〔幹事 37〕平田 哲士，阿部 仁，仲村 武
深澤 政勝，河原 明彦，阿部 英二，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，遠藤 浩之，
原田 仁稔，竹中 明美，今枝 義博，三宅 真司，安達 博成，石井 保吉，今井 律子，
大野 喜作，柿沼 廣邦，加戸 伸明，川口 詳司，小林 幸弘，小山 芳徳，笹井 伸哉，
渋谷 康雄，田所 猛，棚田 諭，野崎 正行，畠 榮，羽原 利幸，松本 慎二，
丸川 活司，丸田 淳子，矢野 恵子，矢羽田 一信，山城 篤，横山 俊朗
〔監事 2〕上野 喜三郎，片岡 秀夫（敬称略）

会の成立：役員47名中41名出席，委任状提出5名，仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：役員会運営に関する細則第6条により，平田総務委員長を選任

議事録作成：庶務委員会（川口幹事，井上委員）

議事録署名人：伊藤会長，上野監事

伊藤会長挨拶：松江での役員会は顔合わせであったが今回から本格的な議論になる。報告事項から2017年秋学会に伴い開催される50周年記念事業で2017年秋学会大会会長 九州大学 加来恒壽先生へご挨拶並びに協力をお願いに私と三宅50周年記念事業委員長で訪問した。同時に記念式典の会場下見，九州のスタッフとの打ち合わせを行った。

細胞学会の社会保険委員会から保健収載についてセルフロック作製について860点，細胞診の免疫染色について組織同様400点を日本臨床細胞学会の他，日本病理学会，日本産婦人科学会，日本婦人科腫瘍学会，日本呼吸器学会，日本肺癌学会，日本臓器学会，日本消化器学会の8学会の共同提案として要望を提出している。

細胞検査士の資格更新について現行は4年であるが専門医同様に5年に変更する予定である。施行は再来年を予定している。カードの色も一色追加され黄色になる予定である。

細胞検査士認定試験について一次試験者数受験者数572名，合格率は50%ほどであった。セミナー，ワークショップについて第71回細胞検査士ワークショップが平成28年3月12-13日に福岡大学筑紫病院の南部雅美様が委員長で開催される予定である。来年度，第126回細胞検査士養成講習会が東京で開催される。細胞検査士教育セミナーは東京を片山博徳氏，大阪を矢羽田一信氏がそれぞれ実施委員長で開催する。日程は神戸で臨床検査技師学会の国際大会が開催される関係上，東京を平成28年8月27-28日，大阪を平成28年9月10-11日になる。第72回ワークショップは平成28年7月23-24日に札幌で実施委員長，田上稔氏のもと開催予定である。

本年度の技師賞は現時点で理事会の未承認ではあるが学術部門は東海大学医学部附属大磯病院，松井成明氏，功労部門は日本医科大学多摩永山病院，片山博徳氏になる予定である。

来年度，ICC国際細胞学会が横浜で開催される。全国学会春期大会に続けたために開催が平日になる。併せてこのたびの学会で日本人初の国際細胞学会理事長に長村義之先生が就任することとなる。是非，国際学会にも多数の参加をお願いする。

最後に日本臨床細胞学会の会員数ですが8月25日現在，全会員数12103人，技師会員

7433名（内細胞検査士7264人、）技師会員中の正会員数1057名です。技師会員の正会員への登録を周知していただくようよろしくお願いいたします。

1. 報告事項・議事録の確認

1) 物故会員

千葉 暢子様 (CT4508) 2014年11月15日ご逝去

大嶋 洋一様 (CT3927) 2015年6月18日ご逝去

伊藤 幸子様 (CT2754) 2015年8月3日ご逝去

村松 さゆり (CT3691) 2015年9月29日ご逝去

2) 平成26年度細胞検査士会第3回役員会議事録 特に異論なく了承された。

3) 平成27年度細胞検査士会総会議事録 特に異論なく了承された。

4) 平成27年度細胞検査士会第1回役員会議事録 特に異論なく了承された。

5) 報告事項 特に異論なく了承された。

2. 確認, 検討事項

1) 監事をすべてのML構成員とすることにする。(実行済み)

2) 議案書と議事録の公開について

議案書はホームページに掲載, 役員会と定時総会の議事録を会報に掲載する。

3) 会報発行時期の変更について

公益化後の役員任期に伴い, 学会後の7月・12月に変更し実施は平成28年秋学会後12月からとする。

4) 細胞検査士会50周年記念事業について

30周年記念事業を参考にし「記念事業会」を設け, 実務は「実行委員会」と「表彰選考委員会」が担当する。「記念事業会」の構成員は役員任期とは異なる任期とし, **実施要綱, 組織構成, 人選を2016年春の役員会までに決定することを確認した。**

5) 精度保証委員会より

セルフアセスメントスライドの貸し出しについて, 出題者全員の使用承諾は困難であったため, 新たな貸し出し方法を検討中。セルフアセスメントスライドが8年目になり公開できるデータを作る予定です。細胞診標本作製マニュアルの新規作製および改訂・名称変更について来年度以降始めて行きたい。

6) 「細胞検査士会ホームページに関する基本方針」から

「情報委員会内規ホームページ及びメーリングリストに関する取り決め」への変更案ホームページとメーリングリストの2本立てで動き始めている, 各種委員会のメーリングリストもホームページ上で管理すれば, プロバイダー料金が節約できる。また, 当会運用MLでは, Yahooメールがspamcopというところのブラックリストに掲載されており, メール受信はできるが, 返信ではじかれる事が判明した為に, Yahooメールを使用されない事をお願いした。基本方針としてホームページはWord Pressを用いて形式的に統一したコンテンツを作成している。

7) 「細胞検査士会ホームページ掲載申込書」から

「情報委員会内規細胞検査士会ホームページ掲載申込書」の変更

学会や細胞検査士会で開催するものは基本的にホームページに掲載するが, その他の研修会などは掲載申込書で申請していただきたい。掲載の許可・確認を会長, 総務委員長, 情報委

員長で行うことが承認された。

8) 細胞検査士意識調査のお願い（案）と質問用紙（案）について

あり方委員会の年間活動で、今後の検査士の活動の参考のためや会員が有効利用できるように「細胞検査士の意識調査」を行う予定。会長とあり方委員長の連名で依頼を考えている。今後、今回作成したアンケートの内容をさらに各委員からの要望を再度聞き取り、これらの意見を取りまとめて、都道府県代表者に協力をさせていただき各県でまとめ、最終的にあり方委員会で全国集計して会報に掲載したい。

3. 議案

- 1) 第1号議案：「細胞検査士会ホームページ記事掲載依頼要綱」の廃止について審議し、議決、承認された。
- 2) 第2号議案：日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会計処理規程から細胞検査士会会計に関する細則への変更について審議し、議決、承認された。
- 3) 第3号議案：「会計処理規程運用細則」「各委員会の会計処理指針」「経理委員会の会計処理指針」「学術事業特別会計運用細則」の廃止について審議し、議決、承認された。
- 4) 第4号議案：「委員会に関する細則」の変更、第5号議案：「委員長会議に関する運用細則」の変更、第6号議案：「委員会業務分担要綱」の変更
第4号、第5号、第6号議案について一括して審議、議決、承認した。
- 5) 第7号議案：公益社団法人日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則の変更
細胞学会理事会で今回議案に上げられなかったため継続審議とした。

伊藤会長：放射線技師会学会で読影のシンポジウムがあり、シンポジストの依頼が細胞検査士会にあった。上野喜三郎氏を推薦し細胞検査士の業務について講演していただくことになった。ホームページの活用を有意義にするため会員に周知徹底していただきたい。現在、規則類を見直し変更点がありますが、継続的にいい方向になるよう検討していきたいと考えています。

片岡監事挨拶：若い細胞検査士が安心して自信を持って日常業務に励めるよう皆様とともに歩んでいきたい。

議事録署名人

伊藤 仁

上野 喜三郎

平成 28 年 2 月

細胞検査士会
平成 28 年度事業計画及びこれに伴う予算書

公益社団法人日本臨床細胞学会
細胞検査士会会長 伊藤 仁

1. 平成 28 年度事業計画

1) 本部：会員の細胞学的知識の向上，技術の研鑽ならびに，公益社団法人日本臨床細胞学会（細胞学会）事業に協力し，細胞検査士の社会的地位の確立を図ることにより社会への貢献を図る。

- ① 各委員会事業の計画，実施，進捗の管理
- ② 各委員会事業の結果を会員へ報告
- ③ 公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告
- ④ 総会，役員会，委員長会議の開催
- ⑥ 役員選挙の実施
- ⑦ 『子宮の日』の活動をはじめとする当会の公益活動内容を細胞学会に報告し理解を求める
- ⑧ 細胞検査士が主体となる新たな公益活動を実施する
- ⑨ 細胞学会各種委員会会務への協力
- ⑩ 細胞検査士ワークショップ（実施委員長）への協力
平成 28 年 3 月 12～13 日 福岡 南部 雅美
平成 28 年 7 月 23～24 日 北海道 田上 稔
- ⑪ 細胞検査士教育セミナー（実施委員長）への協力
平成 28 年 8 月 27～28 日 東京 片山 博徳
平成 28 年 9 月 10～11 日 関西 矢羽田 一信
- ⑫ 細胞学会学術集会への協力
平成 28 年 5 月 28～29 日 第 57 回日本臨床細胞学会総会 横浜
平成 28 年 5 月 29 日～6 月 1 日 ICC（国際細胞学会議） 横浜
平成 28 年 11 月 18～19 日 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会 別府
- ⑬ 細胞検査士資格認定試験実施の協力
- ⑭ 細胞検査士養成事業（細胞検査士養成講習会：実施委員長）協力
平成 28 年 7 月 4 日～2 週間 東京医学技術専門学校 伊藤 仁
- ⑭ 細胞検査士会創立 50 周年記念事業

2) 総務委員会：委員会業務分担要綱に基づき，当会の円滑な運営に努める

3) 経理委員会：委員会業務分担要綱に基づき，会計に関する円滑な運営に努める

4) 庶務委員会：委員会業務分担要綱に基づき，庶務に関する円滑な運営に努める

5) 規約委員会：各委員会からの要望を受け，本法人規則類に準じて細胞検査士会規則類の議案作成を行い，役員会，総会の決議によって定められた規則類を管理する

6) 渉外委員会

- ① 子宮の日の活動：2016Love49 プロジェクト
- ② 平成 27 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
- ③ 子宮の日全国アクション-2016 報告会（日本臨床細胞学会総会；横浜）
- ④ 日本臨床細胞学会総会および秋期大会（5 月，11 月）におけるパネル展示
- ⑤ 日本子宮頸がん予防・啓発連絡会議への参加とがん患者大集会の会場協力
- ⑥ 細胞検査士会ホームページへの Love49 活動関連ページへの取り組み

7) 編集委員会：細胞検査士会会報発行

- ① 第 59 号（平成 28 年 4 月発行予定）
- ② 第 60 号（平成 28 年 12 月発行予定）

8) 学術委員会

- ① 細胞検査士教育セミナー実施協力（セルフアセスメント）
- ② 細胞検査士要望教育シンポジウム企画実行
- ③ ヤングコミティワークショップ計画
- ④ わからん会計画
- ⑤ 口腔，子宮頸部ワークショップ（収益あり）

9) 国際委員会：第8回日・台・韓細胞検査士合同セミナー

2017年2月18-19日 台湾

10) 情報委員会

- ① ctjisc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用
- ② intercyto.com（インターネットサイトロジーHP）CMS システム保守及び運用
特にデータ更新と運用プランニングを企画構築
- ③ 委員長会議メーリングリストの管理運営
- ④ 役員会と都道府県代表者会議に関するメーリングリストの構築，管理
- ⑤ 会員専用パスワードの変更

11) 都道府県細胞検査士会代表者委員会

- ① 都道府県細胞検査士会との連携に関する規則類の整備
- ② 平成28年度第1回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ③ 平成28年度第2回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催

12) あり方委員会：細胞検査士意識調査アンケート実施（全会員対象）

13) 精度保証委員会

- ① 精度保証会議（総会時） ② 第1回セミナー会議 ③ 第2回セミナー会議
- ④ 検体マニュアル作成会議
- ⑤ 養成WS第1回 ⑥ 養成WS第2回 ⑦ 初心者細胞検査士WS

14) 子宮頸がん検診委員会

- ① 第57回日本臨床細胞学会総会で啓発パネル展示を行う
- ② 第55回日本臨床細胞学会秋期大会で啓発パネル展示を行う
- ③ 他関連団体（婦人科がん検診学会等）で啓発パネル展示を行う
- ④ 一般市民向けにポスターを作成し，都道府県で実施する啓発活動へ貸出する
- ⑤ LBCの臨床的有用性とコストエビデンスを調査する

15) 細胞検査士会創立50周年記念事業準備委員会

- ① 50周年記念事業実施要綱を作成する。
- ② 50周年記念事業準備委員会で検討した事業を実現するための組織を作り，事業に関する具体的な企画等を引き継ぐ

2. 平成28年度予算

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成28年度(2016年度)予算

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,624,000	ワークショップ60人×8000円×2回、養成ワークショップ(10000円×160名)、初心者ワークショップ(4000円×40名)
入会金、年会費	11,289,060	*) 50周年記念事業準備金3,000,000円含む
郵送費、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	14,063,060	

*) 50周年記念事業準備金: 検査士会記念事業準備金口座へ移動
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

支出の部

科目	管 理 費						事業費	管 理 費						事業費	合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集		精度保証	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方		
通信運搬費	120,000	40,000	437,400	2,000	40,000	1,280,000	30,560	180,000	4,320	-	5,000	20,000	-	100,280	2,259,560
旅費交通費	629,000	140,000	-	100,000	-	-	820,000	30,000	-	25,000	20,000	100,000	-	200,000	2,064,000
印刷製本費	60,000	-	-	-	-	1,600,000	900,000	450,000	-	-	100,000	225,000	-	400,000	3,735,000
消耗品費	60,000	20,000	-	5,000	10,000	100,000	8,000	10,000	-	-	5,000	-	-	20,000	238,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	30,000	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000
臨時雇賃金	50,000	-	-	-	10,000	-	140,000	-	-	-	-	-	-	60,000	260,000
会議費	334,000	44,000	-	20,000	-	-	210,000	40,000	104,000	10,000	20,000	30,000	-	44,000	856,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000	330,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
接待交際費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	400,000	-	-	-	20,000	-	-	360,000	780,000
雑費	320,000	-	5,000	2,000	-	28,000	140,000	-	1,500	-	10,000	-	-	40,000	546,500
支払負担金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000,000	-	3,000,000
合計	1,923,000	244,000	442,400	129,000	70,000	3,038,000	2,648,560	710,000	109,820	35,000	180,000	375,000	3,000,000	1,254,280	14,159,060

支出合計	14,159,060
------	------------

以上の通り、平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の細胞検査士会予算案を計上します。

平成28年1月9日 細胞検査士会

会計担当 阿部 仁

会 長 伊藤 仁

【資料 3】：細胞検査士会 50 周年記念事業会 申し合わせ事項

提 案	修 正 案
<p>1. 組織と構成員 細胞検査士会創立 50 周年記念事業における事業会、実行委員会、選考委員会の組織と構成員を組織図に示す。</p> <p>2. 記念事業</p> <p>1) 記念式典・表彰 会場：日本臨床細胞学会終期大会会場 実施日：平成 29 年 11 月 19 日（日） 担当：式典部 表彰候補者選考：選考委員会</p> <p>2) 公開講座 会場：日本臨床細胞学会終期大会会場 実施日：平成 29 年 11 月 19 日（日） 担当：学術部</p> <p>3) 検査展 会場：大丸松坂屋天神店 実施日：平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日） 担当：事業部</p> <p>4) 懇親会 会場：福岡サンパレス 実施日：平成 29 年 11 月 19 日（日） 担当：式典部</p> <p>5) 記念誌 冊子又は CD-R 等で平成 30 年 12 月までに配布する。 担当：編集部</p> <p>3. 事業報告 会計部は経理を担当し、庶務部は事業報告書を作成する。監事は事業を監査し、事業会会長が当会役員会に報告する。</p>	

【資料 4】：細胞検査士会 50 周年記念事業会 組織図

細胞検査士会創立50周年記念事業組織図（案）

細胞検査士会創立50周年記念事業 2016春～2018年3月				細胞検査士会役職 2016春～2017年春
50周年記念事業会		実行委員会役職	選考委員会役職	
会 長	伊 藤 仁	会 長
副 会 長	片 山 博 徳	副 会 長
副 会 長	小 松 京 子	副 会 長
会 員	三 宅 真 司	委 員 長	準 備 委 員 長
	阿 部 英 二	事 務 局 長	編 集 委 員 長
	仲 村 武	庶 務 部 長		庶 務 委 員 長
	阿 部 仁	会 計 部 長	経 理 委 員 長
	平 田 哲 士	式 典 部 長	総 務 委 員 長
	深 澤 政 勝	編 集 部 長	規 約 委 員 長
	古 田 則 行	学 術 部 長	学 術 委 員 長
	南 部 雅 美	事 業 部 長	国 際 委 員 長
	大 田 喜 孝	委 員 長	委 員

50周年記念事業表彰 選考委員会		細胞検査士会役職 2016春～2017年春
委 員 長	大 田 喜 孝	功 労 賞 選 考 小 委 員 長
副 委 員 長	原 田 仁 稔	あ り 方 委 員 長
委 員	小 林 忠 男	元 会 長
委 員	畠 山 重 春	元 会 長
委 員	石 井 保 吉	幹 事（前 会 長）
委 員	有 田 茂 実	委 員
委 員	榊 保 彦

細胞検査士会創立50周年記念事業監事
上 野 喜 三 朗
片 岡 秀 夫

50周年記念事業 実行委員会		細胞検査士会役職 2016春～2017年春
委 員 長	三 宅 真 司	準 備 委 員 長
事 務 局 長	阿 部 英 二	編 集 委 員 長
庶 務 部 長	仲 村 武	庶 務 委 員 長
庶 務 副 部 長	笹 井 伸 哉	幹 事
委 員	丸 川 活 司	幹 事
会 計 部 長	阿 部 仁	経 理 委 員 長
会 計 副 部 長	矢 野 恵 子	幹 事
委 員	青 木 裕 志	委 員
委 員	小 材 和 浩
式 典 部	平 田 哲 士	総 務 委 員 長
式 典 副 部 長	横 山 俊 朗	幹 事
式 典 副 部 長	松 本 慎 二	幹 事
委 員	川 口 詳 司	幹 事
委 員	棚 田 諭	幹 事
委 員	寺 戸 信 芳
委 員	緒 方 昌 倫
委 員	松 田 勝 也
編 集 部 長	深 澤 政 勝	規 約 委 員 長
編 集 副 部 長	加 藤 拓	委 員
委 員	藤 田 勝	幹 事
委 員	郡 秀 一	委 員
委 員	川 崎 辰 彦
委 員	石 井 保 吉	幹 事
学 術 部 長	古 田 則 行	学 術 委 員 長
学 術 副 部 長	羽 原 利 幸	幹 事
委 員	中 村 厚 志	委 員
委 員	白 波 瀬 浩 幸	委 員
委 員	三 浦 弘 守	委 員
委 員	甲 斐 俊 一	委 員
委 員	野 口 裕 史
事 業 部 長	南 部 雅 美	国 際 委 員 長
事 業 副 部 長	藤 山 淳 三	委 員
委 員	河 原 明 彦	渉 外 委 員 長
委 員	浅 見 英 一	幹 事
委 員	今 枝 義 博	子 宮 頸 がん 検 診 委 員 長
委 員	石 原 光 浩
委 員	相 知 優 子
委 員	亀 山 広 喜

【資料 5】細胞検査士会 平成 27-28 年度役員選挙実施要綱

細胞検査士会は役員選任に関する細則により、平成 27-28 年度役員選挙を次のように実施する。

1. 選挙の対象と実施期間

【選出役員】

この選挙により平成 27 年定時総会から 29 年定時総会までを任期とする
会長 1 名、副会長 2 名、幹事若干名である。

【選挙の概要】

- (1) 選挙は、都道府県細胞検査士会代表者委員会を介し、各都道府県細胞検査士会の協力を得て、平成 27-28 年度役員選挙管理委員会（選挙管理委員会）が実施する。
- (2) 幹事、会長、副会長の選出の 3 回に分けて行う。

【選挙日程】

- (1) 選挙管理委員会を平成 26 年 7 月までに設置する。
- (2) 選挙公示を平成 26 年 7 月までに行う。
- (3) 各都道府県細胞検査士会より選出された選挙人による幹事の選出を平成 26 年 9 月に実施する。
- (4) 新たに選出された幹事の中より選挙人による会長および副会長の選出を平成 26 年 11 月までに実施する。ただし、事情により選挙管理委員会は実施期日を変更することがある。

2. 選挙管理委員会と開票立会人

【選挙管理委員会の設置】

役員選任に関する細則第 8 条により、選挙管理委員会を設置する。

【選挙管理委員会の位置付け】

選挙管理委員会は、委員会に関する細則に定める委員会とは異なる委員会として位置付ける。

【選挙管理委員会の構成と任期】

選挙管理委員会は、委員長 1 名、および若干名の委員で構成し、平成 27 年定時総会までの任期で会長が委嘱する。

【選挙管理委員会の任務】

選挙管理委員会は、次のことを行う。

- (1) 各都道府県細胞検査士会における選挙人の割り当て数の決定と選挙人名簿の作成
- (2) 被選挙人の募集・資格審査と被選挙人名簿の作成
- (3) 選挙日時・開票方法の細目の決定および公示
- (4) 開票立会人の指名
- (5) 投票用紙の配布・回収・保管および開票・集計作業
- (6) 投票資格の確認および投票の有効・無効の審査
- (7) 選挙結果の発表と異議の確認
- (8) その他、選挙の円滑な実施に必要な実務

【開票作業】

選挙管理委員会は、開票立会人を指名し、必要に応じて開票作業の補助員を置くことができる。

【開票立会人】

選挙管理委員会は、開票立会人を会員から公募することができる。開票立会人は、投票用紙の確認、開票作業の公正な実施の確認、無効票の審査結果の承認、開票結果の確認・承認を行い、監査報告書を作成する。

3. 幹事の選出方法

【選出定数】

被選挙人（候補者）の中より約 30 から 40 名を選出幹事として選出する。（ただし、この中より 3 名は会長、副会長となる）

【選挙人資格】

次のAおよびBを併せた約 250 名を選挙人（投票権者）とする。

（A）各都道府県細胞検査士会基礎選挙権

都道府県細胞検査士会代表者委員会より選挙管理委員会に報告のあった平成 26 年 6 月 1 日時点の都道府県細胞検査士会代表者を選挙人として登録する。

（B）会員数比例選挙権

各都道府県細胞検査士会代表者より申告された平成 26 年 6 月 1 日時点での会員数にもとづき、会員約 30 から 40 名に 1 人の割合で計約 200 名の選挙人を割り当て、各都道府県細胞検査士会代表者に通知する（ただし、会員数 70 名未満は一律 2 人とする）。都道府県細胞検査士会代表者は、規定数の選挙人を選出し、選挙管理委員会の指定する方法によって選挙人登録をすることができる。

【被選挙人資格】

被選挙人（候補者）は、選挙管理委員会の定める方法により各都道府県細胞検査士会より推薦を受けた者、または立候補を届け出た者のうち、選挙管理委員会で審査し、次の要件をすべて満たす者とする。

- （1）当会会員であり、本法人正会員または選出後正会員となる意思を有すること。
- （2）いずれかの都道府県細胞検査士会に所属し、かつ会費滞納のないこと
- （3）役員を解任されるなどの懲戒処分を過去に受けたことがないこと。
- （4）役員選任に関する細則に反しないこと。
- （5）選挙管理委員会構成員ではないこと。

【資料 6】がん検診委員会活動内容

がん検診委員会

1. 目的

- ① がん検診受診率の向上
- ② がん検診実施方法の統一
- ③ がん検診における細胞診の精度管理

2. 活動内容

① がん検診受診率の向上

1) 医療従事者への啓発活動

- 日本臨床細胞学会・婦人科がん検診学会・その他学会でポスターを展示する
- 細胞検査士会のホームページで活動を紹介する
- テーマを決めて日本臨床細胞学会でのワークショップを企画・提案する

2) 一般市民への啓発活動

- 子宮の日の活動を実施する
 - ・全国で実施できるように設定する
 - ・各都道府県で市民向けのアンケートを実施・集計し、各項目の推移を検討して啓発活動の質を向上させる
 - ・同様に活動内容に関するアンケートを実施し、問題点を抽出・改善する（渉外委員会と協力して改善）
 - ・日本臨床細胞学会の子宮の日全国アクションで活動内容を報告する
- 細胞学会時の市民向け展示を充実させる
 - ・子宮頸がん・肺がん等の検診の現状・意義・内容・細胞像・細胞検査士の関りをポスターにして展示する
 - ・小さなブースを設置して顕微鏡で子宮頸部・体部、肺、乳腺、胃、大腸、泌尿器、口腔等の細胞を鏡検できるようにする
 - ・がん検診に関するアンケートを実施・集計し、各項目の推移を検討して啓発活動の質を向上させる
- 他学会の啓発活動・各都道府県の健康展等に協力する（渉外委員会・開催場所の都道府県代表者と協議）
- 細胞検査士が主導する啓発活動・教育活動を企画・運営する（同上）

② がん検診実施方法の統一

- 受診者が全国一律の方法で受診できることを目指す
- 採取法、標本作製法、判定基準、子宮頸がん検診では HPV 併用率等の調査を定期的に実施する
- がん検診の各分野に関連する専門医会から数名をオブザーバーとする

③ がん検診における細胞診の精度管理

- がん検診における細胞診の感度・特異度を評価する
- 不適性標本の割合、判定基準、原因、公表の有無、その後の運用などを調査する
- LBC の臨床的エビデンスをメーカー別に収集して評価する
- 口腔がん検診等において細胞診の有用性を検討する
- がん検診の各分野に関連する専門医会から数名をオブザーバーとする

【資料 7】議案：平成 27 年度収支決算

公益財団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会
平成27年度(2015年) 収支決算

			(翌年度への繰越金内訳)	
前年度からの繰越金	39,036,780		銀行預金	26,138,828
(うち記念事業分)	(5,001,000)		記念事業	7,001,000
今年度(2015年)総収入	11,212,957		郵便振替	7,586,282
今年度(2015年)総支出		9,421,408	検査士会WS	1,000
翌年度への繰越金		40,828,329	現金	101,219
(うち記念事業分)		(7,001,000)		
合計	50,249,737	50,249,737	合計	40,828,329

収入・支出 明細

収入の部		収入の部		支出の部(事業)	
入会金	228 456,000	会費		事業費	
会費		2020年		会議費	460,626
1998年		2021年		旅費交通費	712,610
1999年		収入小計	0	印刷製本費	954,596
2000年		支出の部(管理)		通信運搬費	660,850
2001年		純事務費	260,000	消耗品費	28,548
2002年		印刷製本費	1,933,674	臨時雇賃金	20,000
2003年		消耗品費	82,243	諸謝金	1,349,931
2004年		通信運搬費	1,500,778	会場費	53,700
2005年		旅費交通費	790,960	雑費	24,732
2006年		雑費	42,012		
2007年		接待交際費	79,176	事業費支出計	4,265,593
2008年		会議費	197,877		
2009年		過入金返金	24,120	立替金	244,975
2010年				支払負担金他	244,975
2011年				小計	9,421,408
2012年				総支出	9,421,408
2013年					
2014年	1 1,000	管理費支出計	4,910,840		
2015年	67 67,000	展示・協賛・広告	0		
2016年	1695 1,702,000	会費返金	0		
2017年	1695 1,702,000	学会立替	0		
2018年	1694 1,701,000	銀行利息	0		
2019年	1627 1,634,000	雑収入	0		
収入小計	7,263,000	総収入	11,212,957	今年度の収支差額	1,791,549
採算管理料・郵送料 (広告)	399,957				
ワークショップ参加	3,550,000				
日台韓合同セミナー	0				
源泉預かり	0				
雑収入	0				

上記の通り、平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の細胞検査士会会計報告を致します。

平成28年3月31日 細胞検査士会会計担当 阿部 仁

